

当メールマガジンでは、むつ小川原開発地区及び周辺の現在の姿や、立地企業・団体の活動について皆様にお伝えするため、視察いただいた方々の感想や立地企業からの近況報告などを掲載しております。

第13回目は、経団連会長ご一行のむつ小川原開発地区の視察についてを中心に、視察会公募、エネルギーに関する講演会報告をお届けいたします。

十倉 経団連会長、隅 資源・エネルギー対策委員長 むつ小川原開発地区を訪問



エネルギー産業と研究開発の拠点としての発展状況を視察

十倉 経団連会長、隅 資源・エネルギー対策委員長に9月20日～21日、むつ小川原開発地区をご視察いただきました。

経団連は、2050年カーボンニュートラルを実現すべく、経済社会全体の変革であるグリーントランスフォーメーション（GX）を強力に推進しています。そうした観点から、太陽光・風力・石油備蓄のみならず、核融合関連施設など総合的なエネルギー・研究開発拠点として発展するむつ小川原開発地区は、「百聞は一見に如かず」だと自負しております。

出発日は、台風14号による飛行機の欠航が懸念されましたが、不安を払拭し無事に羽田を出発。経団連会長の視察は榊原会長（当時）以来とあって、地元から熱烈的な歓迎を受けました。

この日の夜は、地元経済人との懇談にご参加いただきました。翌日は天気にも恵まれ、青森県三村知事を表敬訪問、その後に六ヶ所村戸田村長との懇談。そして、日本原燃(株)の原子燃料サイクル施設および量子科学技術研究開発機構の核融合研究施設をご視察いただき、十倉会長ご一行は三沢空港から東京への帰路につかれました。

■訪問の詳細については、経団連タイムス2022年10月13日号 No.3562 参照

https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2022/1013_08.html

次ページ>>>

視察会公募 & 講演会報告

視察会公募について

十倉経団連会長も視察した「むつ小川原開発地区」に行ってみませんか？

日程 -1泊2日-

2023年3月23日(木)～24日(金)

スケジュール案

1日目

10:40 七戸十和田駅の改札集合

午前 風力発電、メガソーラー等、昼食

午後 原子燃料サイクル施設、核融合研究施設、懇親会、宿泊は八戸市を予定

2日目

8:00頃 ホテル出発 八戸駅で解散

視察内容

カーボンニュートラルに貢献するエネルギー施設

- ・再生可能エネルギーの状況
- ・原子燃料サイクル施設の状況
- ・核融合研究開発の状況

移動

以下の推奨便をご参照の上、各自ご手配ください。

往路 はやぶさ 5号

東京7:32 →七戸十和田10:37

復路 はやぶさ14号

八戸9:05 →東京12:08

※ダイヤ変更により、到着が5分程度早まる可能性があります

参加費用

現地までの交通費・宿泊費は、参加者各位にご負担いただきます。

東京からご参加の場合、4万円程度です。

*新幹線往復 約32,000円

*宿泊費 約8,000円

*昼食、懇親会費用は主催者負担

募集人員

10名程度 (先着順)

お申込

メールマガジン添付の申込書にて、メールもしくはFAXでお申込ください。



当地区紹介ムービー>>>

<https://www.youtube.com/watch?v=j0z2JzKDQ-4>

エネルギーに関する第7回講演会 報告

今回は、国際環境経済研究所 理事・主席研究員の竹内純子様を講師にお招きしました



新むつ小川原株式会社では、経団連との共催による「エネルギーに関する第7回講演会」を9月29日に開催しました。今回は過去最多、約400名の皆様にご視聴いただきました。

■次第および講演要旨は当社HPを参照ください。

https://www.shinmutsu.co.jp/activity/pdf/20220929_lecturePDF.pdf

むつ小川原だよりVol.13

[編集・発行] 新むつ小川原株式会社 企画営業本部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館20階

TEL 03-5218-0062